

# 小型廃カセットガス缶・エアゾール缶処理装置

カセットコンロ用のカセットガス缶や殺虫剤、化粧品等のエアゾール缶は、その利便性から広く普及しています。しかし、完全に使い切らずに廃棄することにより、廃棄物処理施設等で缶を破碎、プレスする際、火災、爆発等の事故が発生し、大きな問題になっています。

本処理装置は、不活性ガスである窒素雰囲気下で缶に穴を開け、残留するLPガスや可燃性ガス、エアゾール缶残液及び処理された缶を効率良く分離し、ガスは燃焼処理、液は回収、処理缶はスチールやアルミ資源として回収する装置です。

## 特長

- ①残留する可燃ガスを不活性ガス(窒素)をもちいて安全に処理できます。
- ②バッチ運転で、缶の投入、排出以外は自動処理運転です。
- ③処理した缶は、既設の選別機、プレス機等で成形、リサイクルが可能です。

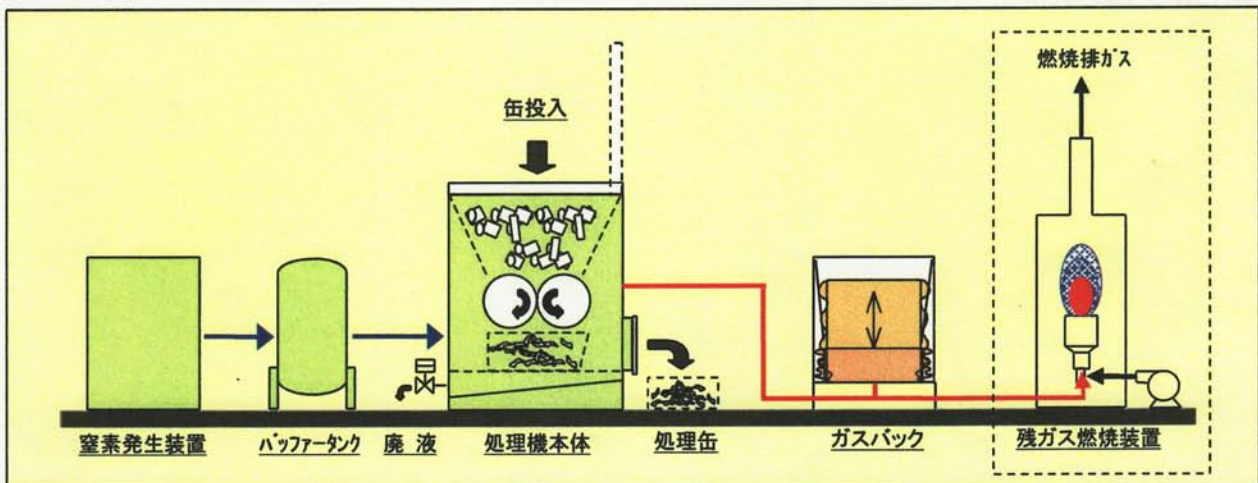


処理前



処理後

## ●フロー図



## 仕様

- ①処理能力：800缶/hr (約200缶/バッチ、処理時間15分/バッチ)
- ②処理雰囲気：酸素濃度10%以下雰囲気(燃焼・爆発が起きない条件)

## 設備の機器構成

- ①処理装置本体
- ②窒素発生装置+コンプレッサ+バッファタンク
- ③ガスバック
- ④残留ガス燃焼装置